



令和元年10月4日
帯広開発建設部

利別川の水質調査を実施しました（水質事故 第4報）

9月20日に、本別町に所在する製糖工場から、重油が利別川支川のホロナイ川（北海道管理区間）を経由して利別川（国管理区間）に流出する水質事故が発生したところです。

9月28日に採水を行った水質調査の結果をお知らせします。

今回の水質調査結果においても、重油の含有量の指標となる油分は全地点で測定の定量下限値（0.5 mg/L）以下となり、環境省が定める排水基準の許容限度値5 mg/Lを大きく下回る結果となりました。

帯広開発建設部では引き続き河川巡視を行い、河川環境の保全に努めて参ります。

なお、今後は、河川に特段の状況変化が生じた場合にお知らせします。

・ 水質調査結果 別紙のとおり

（前回の水質調査箇所（5地点）に十勝川河口付近を加えた6地点で実施）

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部 （電話 0155-24-4102）

公物管理課 課長 松本 一紀（内線 341）

公物管理課 上席管理専門官 米川 高広（内線 373）

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>



利別川及び十勝川水質調査結果（9月28日調査分）

河川名		利別川					十勝川下流	河川 環境基準 ¹⁾	河川 排水基準 ²⁾
地点名		①ホロナイ川 合流点直下流5m 左岸	②東橋 流心	③高島橋 流心	④池田大橋 流心	⑤川合橋 流心	⑥十勝河口橋流心		
現地観測									
調査日	—	R1.9.28	R1.9.28	R1.9.28	R1.9.28	R1.9.28	R1.9.28	—	—
調査時刻	—	9:30	9:50	10:30	9:00	11:05	12:25	—	—
天候	—	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	—	—
水色 (採水瓶)	—	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	—	—
水温	℃	12.8	14.0	15.0	12.8	15.0	17.0	—	—
臭気	—	無し	無し	無し	無し	無し	無し	—	—
油膜有無	—	無し	無し ³⁾	無し	無し	無し	無し	—	—
油膜有の場合 範囲	—	—	—	—	—	—	—	—	—
魚類 斃死または衰弱 有無	—	無し	無し	無し	無し	無し	無し	—	—
水質分析（公定法）								河川 環境基準 ¹⁾	河川 排水基準 ²⁾
油分(n-ヘキサン 抽出物質)	mg/L	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	—	鉱油類≤5

1) 環境基本法第16条に基づき、公共用水域の水質汚濁に係わる環境上の条件につき維持することが望ましい基準。

2) 水質汚濁防止法（昭和45年12月25日法律第138号）に基づく、特定施設を設置し、公共用水域に排出水を排出する工場・事業所に対しての排出水の規制。

3) 利別川東橋地点の左右岸では若干の油膜有り。

凡例

● 水質調査地点



凡例

● 水質調査地点



地理院地図(電子国土Web)